



たんぽぽだより



令和6年12月号 No.113
 砂川市病児・病後児保育施設
 Tel 0125-54-2278

朝晩の寒さも日増しに厳しくなり季節は冬になりましたね。今年も早いもので残すところ1ヶ月となりました。マイコプラズマ肺炎、インフルエンザ感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症など流行の兆しがみられます。ご家庭でもより一層感染症対策に力を入れて、今月も元気に過ごしていきたいですね。

先月は急性上気道炎、中耳炎、ぜん息・ぜん息性気管支炎、ヒトメタニューモウイルス感染症などでの利用がありました。



滝川保健所管内で警報が発令されました。



▼マイコプラズマ肺炎▼

最初のかぜと似た症状が現れ、1～2日遅れて咳が出始め、1ヵ月ほど続くのが特徴です。特に早朝や就寝前に、ひどく咳込む傾向があります。咳が長引き、なかなか改善されない場合は治療薬があるので受診をしましょう。潜伏期間(14日～21日)が長く、感染源の特定は困難ですが、熱やアルコールに弱いので、消毒薬を使用することで予防ができます。咳で感染が広がるため、手洗い・うがいなどもこまめに行いましょう。また、かぜやインフルエンザと同様、免疫力が弱っている時にかかりやすいので、栄養や睡眠をしっかりととり、規則正しい生活を心がけましょう。



突然の高熱に注意!

よう れん きん かん せん しょう 溶連菌感染症

突然、熱の出る、非常に感染力の強い病気です。下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

- 症状**
- 突然、熱が出て、のどがはれて痛みが出る
 - 全身に発しんが出る
 - 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
 - おう吐、頭痛が起こる

